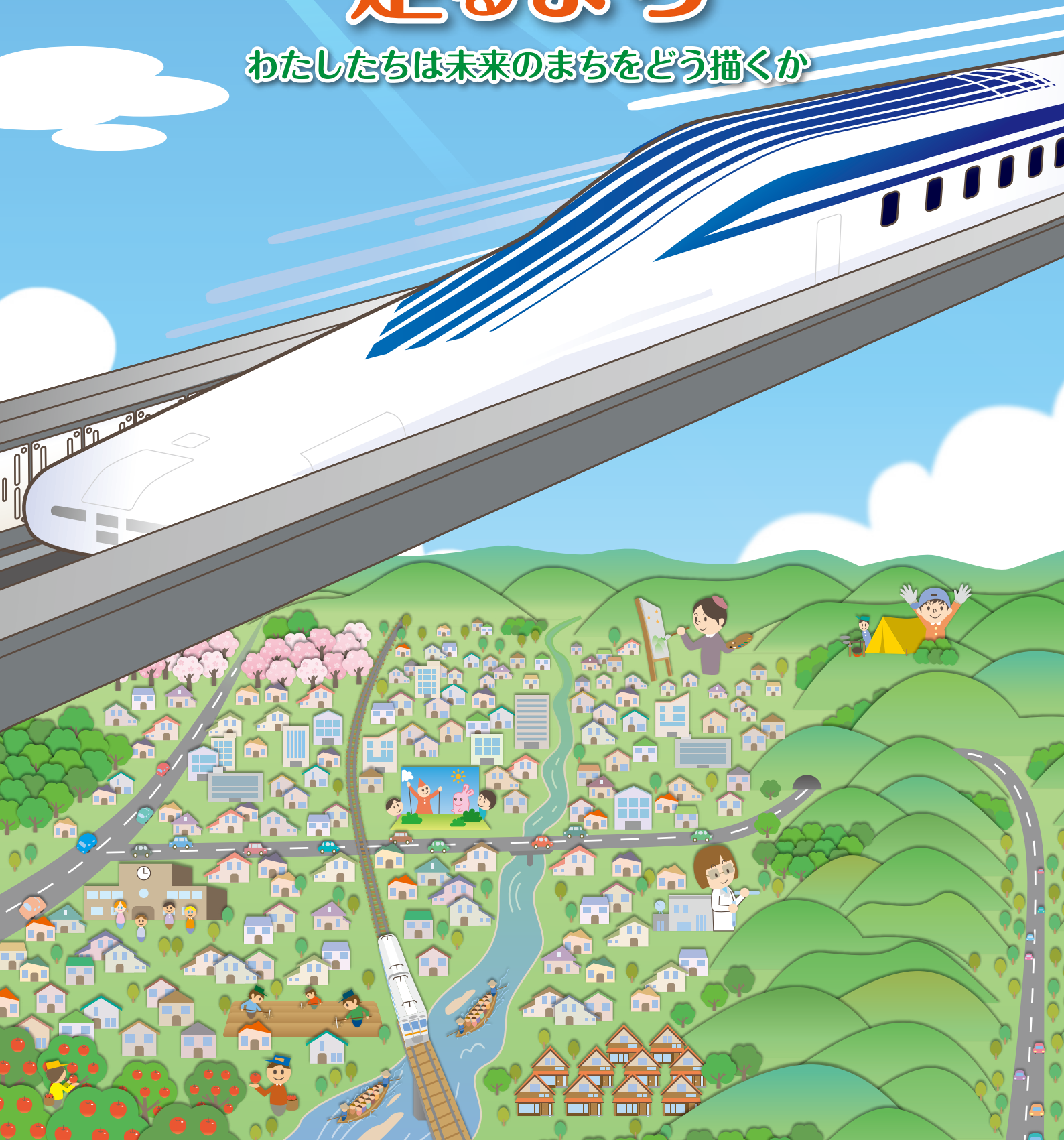


～リニア将来ビジョン～

リニア中央新幹線が 走るまち

わたしたちは未来のまちをどう描くか



リニア中央新幹線のあゆみ

昭和48年11月、中央新幹線は全国新幹線鉄道整備法(全幹法)に基づく基本計画線に決定されました。飯田下伊那地域では、その翌年に他の地域にさがけて地元自治体や議会、経済団体などで構成する「中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会」を設立し、官民一体となった建設促進のための様々な活動を実施してきました。

リニア中央新幹線の実用化に向けた実験やルート選定のための地形・地質等の調査が長く続けられる中、平成19年12月、東海旅客鉄道株式会社(JR東海)が「全額自己負担を前提に中央新幹線を促進する」と発表したことから、リニア中央新幹線の実現に向け大きく前進しました。

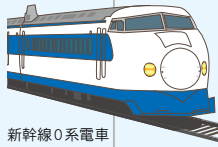
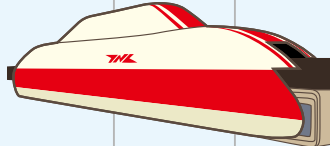
平成23年5月、全幹法に基づき、JR東海が営業主体及び建設主体に指名され、整備計画の決定により、JR東海に対して建設の指示がなされました。このことから、当地をリニア中央新幹線が通過することが確定となりました。その後、平成25年9月には、リニア中央新幹線東京都・名古屋市間の駅位置が公表され、長野県駅は、飯田市上郷飯沼に設置されることになりました。

平成26年8月には、東京都・名古屋市間の環境影響評価書が公告され、工事実施計画(その1)の認可申請が行われました。10月に国土交通大臣の認可を経て、リニア建設工事の開始に向けていよいよ具体的な動きが始まりました。

※環境影響評価…開発事業の内容を決めるにあたって、それが環境にどのような影響を及ぼすかについて事業者自らが調査、予測、評価を行い、その結果を公表して、国民、地方公共団体から意見を聴き、それらを踏まえて環境保全の観点から、より良い事業計画を作り上げていこうという制度。

在来型新幹線・リニア中央新幹線技術開発の経緯

新幹線は開業年

年代	1872	1950	1960	1970	1980	1990	2000	2010	2027
在来型新幹線鉄道			●1957 鉄道技術研究所により東京一大阪間の3時間運転は技術的に可能と報告						
			●1964 東海道新幹線	●1972 山陽新幹線	●1982 東北新幹線・上越新幹線		●1997 北陸新幹線	●2004 九州新幹線	
技術			●1962 研究開発開始	●1975 宮崎実験線	●1998	●1990 山梨実験線	●1997 山梨実験線における走行試験開始	●2009 「超高速大量輸送システムとして運用面も含めた実用化の技術の確立の見通しが得られた」と評価(H21.7.28 実用技術評価委員会)	
リニア中央新幹線 開業までの流れ				●1973 基本計画線に中央新幹線が決定		●1990 地形・地質等調査	●2008	●2008 ●●2009 その他4項目調査	●2010 ●●2011 交通政策審議会
							営業主体、建設主体としてJR東海を指名、整備計画の決定、建設の指示	●2011	●2014 環境影響評価書公告 工事実施計画の申請・認可
その他	●1872 わが国初の鉄道開通(新橋～横浜間 29 km)			●1974 「中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会」を設立し、官民一体となった建設促進運動開始					●2007 JR東海が自己負担による建設を表明

リニア中央新幹線の意義

リニア中央新幹線は、東京—名古屋—大阪を結び、東京—名古屋間は2027年、大阪までの開業は2045年予定です。東京圏、名古屋圏、関西圏の三大都市圏を、高速かつ安定的に、多くの乗客を長期にわたり運ぶリニア中央新幹線によって、わたしたちの生活は大きく変わります。そればかりではなく、日本の経済にも極めて重要な役割を担うこととなります。

(出典:交通政策審議会答申)

ポイント 1

三大都市圏を高速かつ安定的に結ぶ幹線鉄道路線の充実

三大都市圏は、世界でも有数の人口集積地です。東海道新幹線とリニア中央新幹線の二本の大動脈(二重系化)により、安定して乗客を運ぶことができます。

また、東海地震など災害リスクの備えとなります。東海道新幹線の老朽化による大規模改修工事が行われても、リニア中央新幹線により、東海道新幹線の運転に及ぼす影響を軽くすることができます。

ポイント 3

東海道新幹線の輸送の形の転換と沿線地域の再発展

東海道新幹線とリニア中央新幹線による二重系化をすることにより、各駅停車の増設などが期待できます。このことは東海道新幹線を利用する乗客がより便利になるとともに、沿線地域の活性化も期待されます。

ポイント 5

世界をリードする先進的な鉄道技術の確立および他の産業への波及効果

超電導リニア方式は、我が国が独自に開発してきた高速鉄道技術です。この方式による中央新幹線は、高速鉄道の技術開発として世界に発信するとともに、周辺産業の活性化にも大きな影響を与える可能性があります。さらに、国民に技術立国としての自信・自負と将来社会への大きな希望を与えることも期待されます。

ポイント 2

三大都市圏以外の沿線地域に与える効果

リニア中央新幹線は、三大都市圏以外の沿線地域においても、三大都市圏とのアクセスを向上させます。それによって、地域が主体的かつ戦略的な活性化策を実施し、地域振興が期待されます。豊かな自然に恵まれたこの地域に大都市圏から訪れた人たちに、容易に大自然の感動が与えられます。地域の特性を活かした魅力的な地域づくりが期待されます。

ポイント 4

三大都市圏を短時間で直結する意義

リニア中央新幹線によって、三大都市圏は相互に約1時間で結ばれ、日本の人口の約半数約7000万人がこの圏域に含まれるというリニア都市圏が出現します。このことは日本の国土の構造そのものに大きく影響を与えることから、国際競争力を高めることが期待されます。移動時間の大幅な短縮により、交流が拡大されライフスタイルが大きく変わることも期待されます。

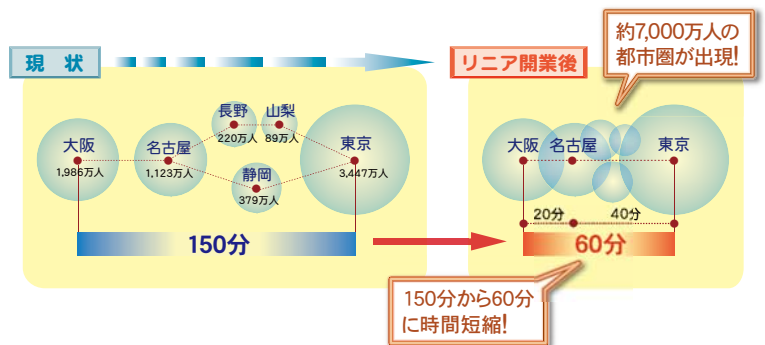
リニア中央新幹線がもたらす影響

リニア中央新幹線が開業すると、わたしたちのまちや暮らしにいままでに経験したことのない大きな変化が起きると思われます。飯田下伊那地域では、移動時間の大幅な短縮により産業立地の可能性の向上、観光目的やビジネス目的による交流人口の増加、多様なライフスタイルの享受などのメリットが期待できます。一方で、ストロー化現象といわれる人材流出などが心配されます。メリットを最大限に、マイナスの影響を最小限におさえるために魅力的なまちづくりをはじめ、様々な取組みを進める必要があります。

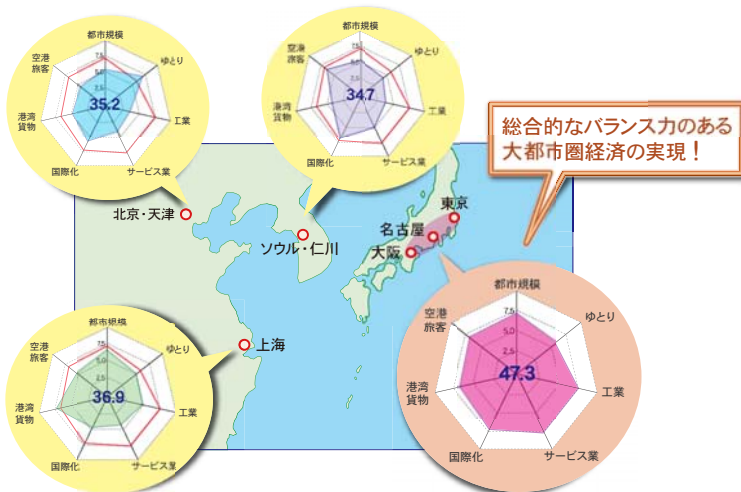
(出典：飯田市社会・経済影響調査)

1 リニア都市圏の出現

東京一大阪間が約1時間で結ばれることにより、行き来の可能な大都市圏があらわれます。その効果は、沿線地域を中心に広域にひろがり、わが国に与える経済への影響は大きくなります。



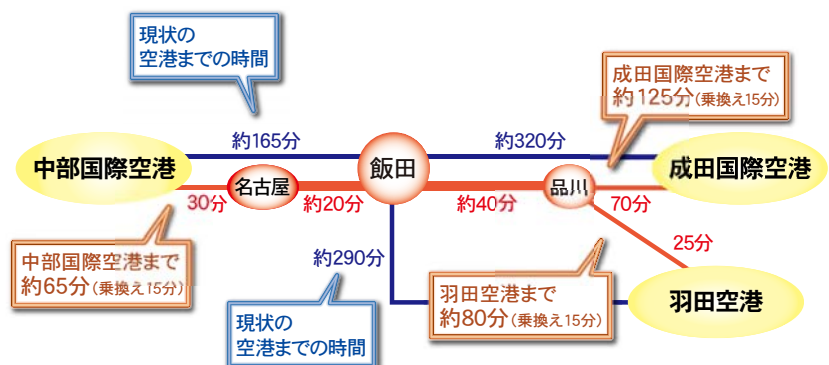
2 国際競争力強化



北京、上海、ソウルなど東アジアの拠点都市は著しく成長しています。リニア都市圏は東アジアのほかの都市にはない総合的なバランス力のある大都市圏となり、三大都市圏の特色を活かすことができ、国の経済発展や国際競争力の優位性の確保につながります。

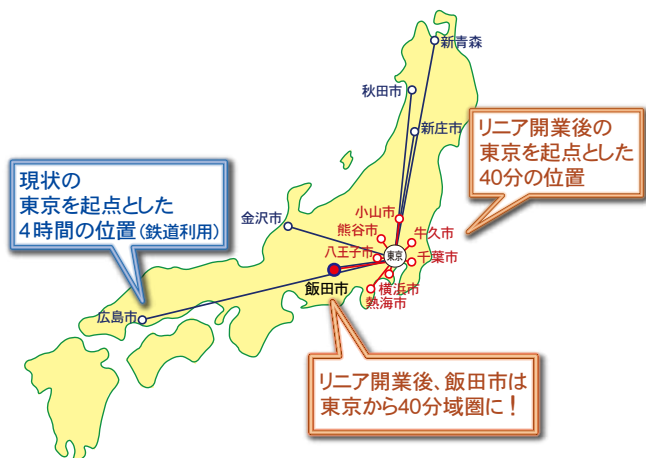
3 空港アクセス

現在は、飯田市から空港まで約3時間かかりますが、リニア中央新幹線開業により、中部国際空港まで約65分、羽田空港まで約80分、成田国際空港まで約125分でアクセスできるようになります。これは、海外からこの地に来やすく、当地からは海外に行きやすくなることを意味します。

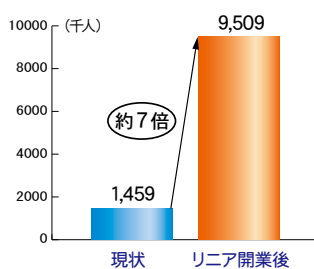


4 時間圏の変化

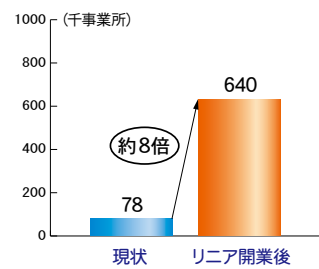
リニア中央新幹線開業後、飯田からの90分圏域は、名古屋・岐阜・四日市、東京品川周辺も含まれ、圏域内の人口は約7倍、事務所数は約8倍に増えます。



飯田から東京までは約4時間ですが、リニア中央新幹線開業後は大幅に短縮され、東京45分圏に含まれます。



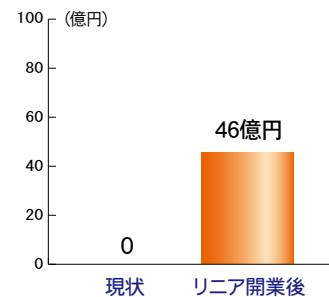
飯田市からの90分圏域人口



飯田市からの90分圏域事業所数

5 経済に関わる効果

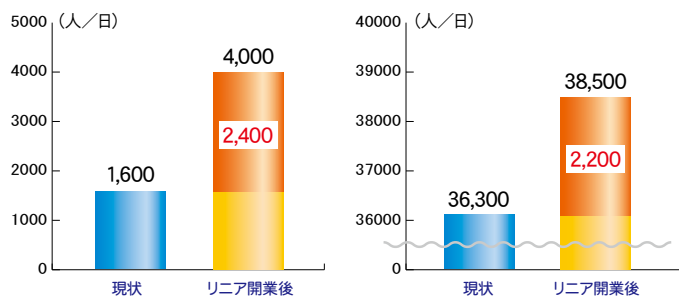
リニア中央新幹線が実現することによる効果をお金に換算すると、1年間で約46億円、50年間で約1300億円と見込まれます。これは都市圏へのアクセス時間短縮によって生まれる様々な効果から推計されたものです。(当地域の現状のデータから試算したものです。)



1年間の経済効果

6 交流への影響

リニア中央新幹線開業により、ビジネス目的では開業前より1日約2400人、観光目的では1日約2200人の増加が見込まれます。

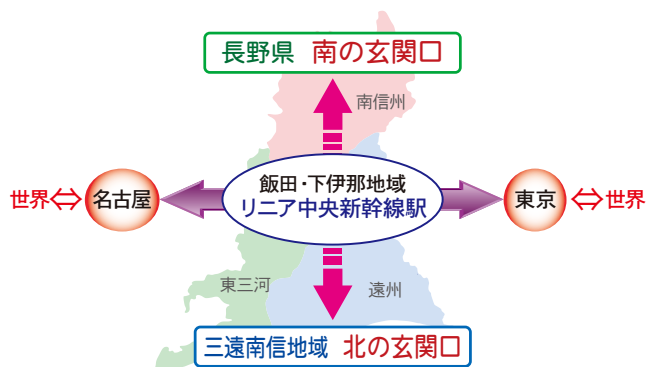


業務目的の交流人口

観光目的の交流人口

7 長野県の南の玄関口、三遠南信地域の北の玄関口

この地域には、JR飯田線や中央自動車道があり、さらに三遠南信自動車道の全線開通に向け工事が進められています。このような交通基盤に加え、リニア中央新幹線の間際駅が設置されることから、当地域は、長野県の南の玄関口、三遠南信地域の北の玄関口の役割を担うことになります。



※所要時間の推定:環境影響評価方法書に示されているルート及び駅位置の概要や公表資料等から所要時間は、飯田東京間を約43分、飯田名古屋間を約21分と推計しました。
 ※□～回:「リニア中央新幹線の実現による社会経済影響調査(平成21年度)」及び以後公表された情報等を整理し更新しました。

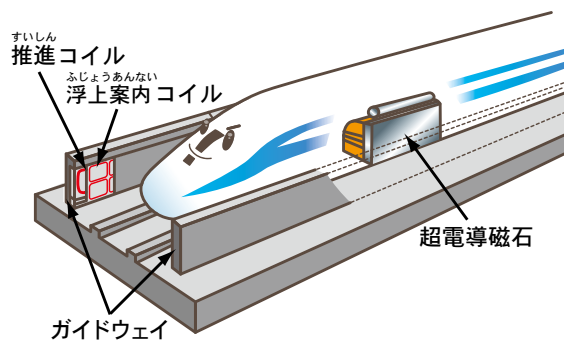
リニア中央新幹線の仕組み

●リニア中央新幹線は超電導磁石で走る

リニア中央新幹線は、車両に搭載した超電導磁石とガイドウェイに取り付けられた地上コイルとの間の磁力によって、浮上して走行します。

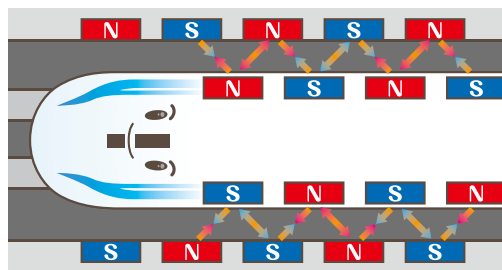
超電導磁石とは

ある種の物質を一定温度以下としたとき、電気抵抗がゼロになる現象を超電導現象といいます。超電導状態となったコイルに一度電流を流すと、電気抵抗がないため電流はコイルの中を永久に流れ続け、強力な磁界を発生します。リニア中央新幹線はこの超電導磁石を搭載し、ガイドウェイに取り付けられた地上コイルとの磁気相互作用により浮上して走行します。



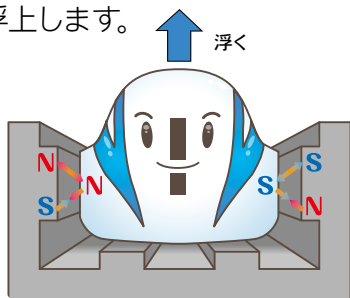
●進む原理

地上の推進コイルに電流を流すことにより磁界 (N極、S極) が発生し、車両の超電導磁石との間で、N極とS極の引き合う力と、N極どうし、S極どうしの反発する力により車両が前進します。



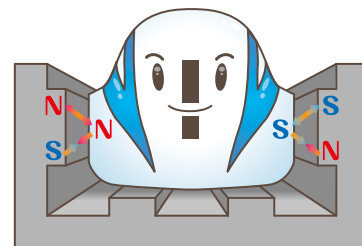
●浮き上がる原理

車両の超電導磁石が高速で通過すると、地上の浮上・案内コイルに電流が流れ電磁石となり、車両を押し上げる力 (反発力) と引き上げる力 (吸引力) が発生し、浮上します。



●ぶつからない原理

左右の浮上・案内コイルは、電線により結ばれ、車両が中心からどちらか一方にずれると、車両の遠ざかった側に吸引力、近づいた側に反発力が働き、車両を常に中央に戻します。



●リニア中央新幹線と在来型新幹線の比較

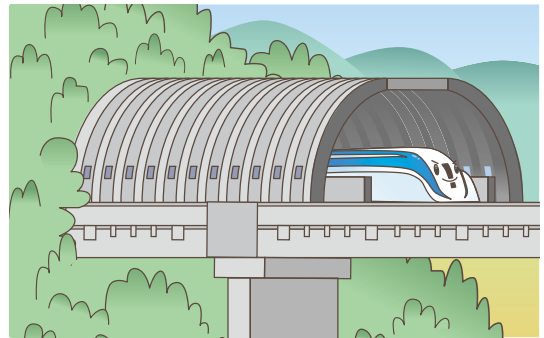
項目	リニア中央新幹線	在来型新幹線 (東海道新幹線)	備考	
営業最高速度	500km/h (予定)	270km/h	山陽新幹線 300km/h、東北新幹線 275km/h	
最大加速度	7.2 km/h/s	2.6 km/h/s		
線路	最小曲線半径	8,000m (実験線の基準)	2,500m (本線上の原則)	
	最急こう配	40% (実験線の基準)	15% (本線上の原則)	1%は 1,000m 進むと 1m 上がる
輸送力	輸送人員	約 1 万人 / 時間・片道	約 1.7 万人 / 時間・片道	リニア中央新幹線は技術開発目標
	1 編成の最大車両数	16 両	16 両	
	1 編成の最大乗車人数	約 1,000 人	約 1,300 人 (N700 系)	
車両	1 時間当り最大列車本数 (片道)	10 本 / 時	13 本 / 時	
	車体長さ	28.0m (先頭車両) 24.3m (中間車両)	27.35m (先頭車両) 25.0m (中間車両)	
	車体幅	2.9m	3.36m	
	車体高さ	3.28m	3.6m	
重さ	約 25t / 両	約 45t / 両		

騒音は？

在来新幹線と同じ環境基準が適用されます。

騒音については、山梨実験線のデータから、必要な対策をとることにより、環境基準値の達成は可能であると国で判断しております。

必要な箇所には明かりフードなどを設置し、騒音対策が実施されます。



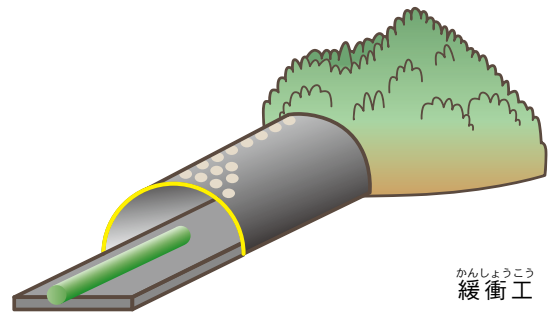
明かりフード

微気圧波・空気振動は？

在来新幹線と同じ環境基準が適用されます。

微気圧波や空気振動については、山梨実験線のデータから、必要な対策をとることにより、環境基準値の達成は可能であると国で判断しております。

必要な箇所には緩衝工や明かりフードを設置し、微気圧波や空気振動対策が実施されます。



緩衝工

磁界は？

国際機関が定めたガイドラインに準拠した基準値が適用されます。

山梨実験線のデータから、発生する磁界は基準値と比べて十分に低いレベルに低減されていることが確認されています。

磁界対策は、車内については磁気シールドやアルミ車体により磁界が低減され、ホームについては磁気シールドにより低減されます。

地震が起こった場合は？

地震に強い乗り物です。

リニア中央新幹線は、浮上して走行するため、地震時の揺れと万一の軌道のずれや段差に対処でき、地震に強いとされています。異常が発生した場合は、安全に制御する設計により、安全に停車するシステムになっています。

微気圧波ってなに？

長いトンネルに入ったとき、空気が圧縮され衝撃波のようになり、反対側のトンネル出口で音や振動を発生させる現象のことで。

空気振動ってなに？

工場や交通機関から発生する人の耳には聞こえない低い周波数の空気振動のことで。

磁界の発生ってなに？

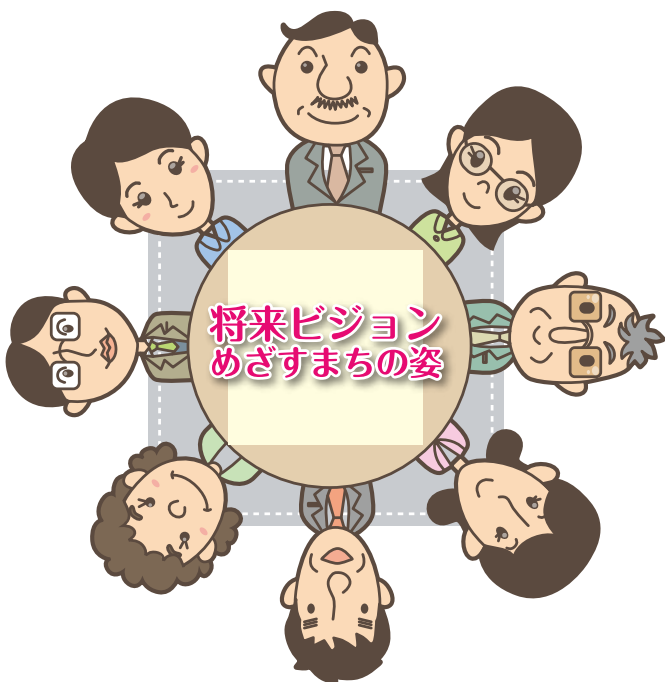
磁気ははたらく空間を磁界といい、地球という大きな磁石により発生する磁界(地磁気)や電流が流れている物の周りに必ず発生する磁界があります。

リニアが走る未来のいいだ

みんなで考えるめざすまちの姿

住民の代表者たちが主体となって、まちづくりの専門の先生などの意見を聞きながら、リニア中央新幹線開業にむけ、まちの将来像について20回以上の会合をもち話し合いました。また4つのグループにわかれ、「産む・育てる・学ぶ」、「住む・交流する」、「働く」、「環境」についても検討しました。「自分たちの地域のことは、自分たちで考える」ことを大事にし、めざすまちの姿(将来ビジョン)を決めました。今後、このビジョンについて一人ひとりが真剣に受け止め、地域づくりを進めていきましょう。

みらいのまちキーワードは、①小さな世界都市 (P10-11) ②地域ブランド (P12-13) ③大切に守る文化・自然 (P14-15) です。それについて考えてみましょう。



「大事なものは駅に人が大勢降りてくれるような魅力あるまちをつくることだ。それを具体的に考えて行動を起こそう。」



「飯田から人が出て行ってしまうこともある。また戻ってくるような環境づくりが大切。」



「空港が近くなれば世界との距離がちぢまる。グローバル化がますます進む。人口10万人あまりの飯田に世界各国から人がくる。観光や産業、暮らしも世界的になり、飯田は『小さな世界都市』になるだろう。」



「地域には特色ある文化や食が豊富にある。それを地域ブランドとして磨きをかけ、世界にアピールすることが大切なことだ。」

「自分たちで考えるまちづくり」

はなばな まんかい
花々が満開の5月のはじめ、南アルプスから昇る朝日を撮影したふるさとの写真です。
3000mを超える南アルプスと中央アルプスに囲まれた豊かな自然は世界に誇れるものです。
かわざり いちだかき
天竜川からたちのぼる川霧は、市田柿の味を引き出します。段丘には果樹園がひろがり、
さいばい
リンゴやナシ、モモの栽培も盛んです。農産物の産地の北限・南限である当地域は、一年
を通じて多様な農産物がつくられています。

いま、ふるさとに、新しい時代の波が到来しようとしています。それが2027年開業をめざしているリニア中央新幹線です。大人たちは、この美しいふるさとを世界に発信しようと、未来のまちづくりについて何回も議論を重ねてきました。もちろん、わたしたちが大人になったときに住みやすいまち、住んでみたいまちにしたいからです。

わたしたちもともに考えましょう、ふるさとの未来を。



「いま大事にしているものは守ろう。飯田の桜は美しい。南アルプスは目の前にあり雄大だ。豊かな自然、そこに生きるすべての動植物も大事にしたい。」



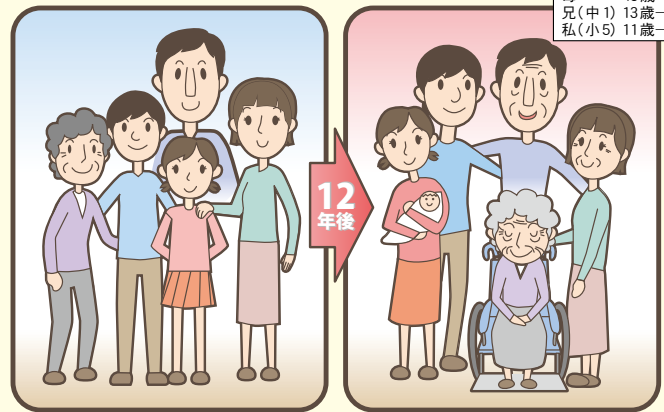
「伝統的な祭りもある。住んでいる人たちが暮らしやすく、地域に誇りを持つことが大事だ。」



「ここは日本の真ん中という位置にあったから、昔からさまざまな人が文化を運んできた。住んでいた人たちはその文化を受け入れた。そして夢をもって新しいことに挑戦してきた。だからあらゆる可能性にチャレンジできる。」



「大人だけの考えでまちをつくるのではない。子どもがワクワクできる夢のあるまちづくりが大事だ。」



祖母	75歳→87歳
父	48歳→60歳
母	45歳→57歳
兄(中1)	13歳→25歳
私(小5)	11歳→23歳

はな子さん(小学5年生)の家族の会話

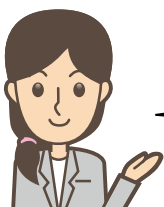
父「12年後にはこの地域にリニアの駅ができるんだよ。」
私「12年後!! じゃあ私は23歳、おにいちゃん25歳。」
父「わしはちょうど還暦だ。お母さんも57歳だから、還暦が近いな。」
母「わー、考えたくもないわ。」
祖母「わしは、もうこの世におらんわ。」
兄「そんなことないよ。長生きしてよ。僕が東京や名古屋へ連れて行ってあげるよ。」
祖母「ありがとよ。」
私「わたしは結婚しているかなあ。」
兄「僕は飯田でバリバリ働いているぞ。」
父「まあ、リニアで世界との距離が近くなるから、ここから世界を飛びまわっているかもな。」
兄「ぼくたちもまちがどのように変わっていくか勉強しないと。」

あなたの家族 いま何歳 12年後は あなたの夢は——





リニア中央新幹線が開業すると、中部国際空港や羽田空港、成田国際空港までのアクセスがよくなり、国内はもちろん、海外とのつながりもこれまで以上に高まり、グローバル化が一段と進むようになります。たとえば、この地域の文化に「人形劇」がありますが、国内や海外にも特徴のある人形劇があり、そことのつながりをもつことで、ネットワークが広がります。あるいは、世界各国で行われている研究開発をこの地域に集めるなど、人とのつながりを大切にする地域性をいかした「小さな世界都市」をめざします。


人形劇フェスタ





飯田のまちにいて世界を近くに感じることができるようになるね。『小さな世界都市』について具体的に考えてみましょう。


- 

「いまだって、夏の人形劇フェスタには外国人がいっぱいきているよ。だから、一年中人形劇のまちにすれば、毎日世界中の人形劇がみられるし参加もできるよ。飯田といえば『人形劇のまち』といえるようなまちにするんだよ。黒田人形とか今田人形だってあるしね。」
- 

「ぼくは科学者になりたい。ここに研究所があれば、世界中の科学者と一緒に研究したい。」
- 

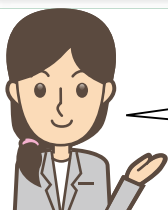
「わたしは絵が好きだから、南アルプスに囲まれた森のなかに世界中のアーティストたちが集まる芸術村をつくりたい。仲間と一緒に絵の勉強をするわ。」
- 

「南アルプスや天竜川があるから、アウトドアスポーツの世界大会ができるよ。トレッキングだろう、沢のぼり、登山、マラニック、ラフティング、まだまだいっぱいあるね。」
- 

「静かな飯田で国際会議を開いて、いろいろな人と交流を深めていくといいね。」
- 

「自然は豊か、文化は盛ん。一年中どこかで何か活動があれば、世界中の人が飯田に来てみたいと思えるよ。そういうふうと思えるようなことをぼくたちが考えていくのも、なんだかワクワクするね。」

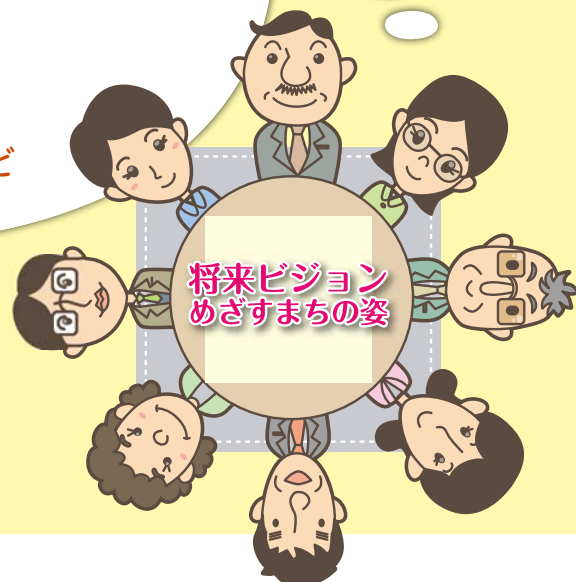
飯田を世界に誇れるまちにするには



あなた自身、大人になった時に
どんな地域、どんなまちにしたいですか？
一緒になって考えてみましょう。

リニア^{しょうらいこうそうけんとう}将来構想検討会議では、
リニア^{ちゅうおうしんかんせん}中央新幹線を見据え、^{みす}具体的なまちづくり^{あん}案の意見がありました。

- 海外研究者の来訪の拡大^{かいがいけんきゅうしゃ らいぼう かくだい}
- 子供の国際交流の場^{こくさいこうりゅう}
- 国際交流の拡大
- 二地域居住の重点的な促進^{きょじゅう じゅうてんてき そくしん}
- ライフタウンの推進^{すいしん} ● 人形劇のまち
- スポーツの世界大会開催地^{かいさいち}
- 環境産業とグローバル化^{かんきょうさんぎょう}
- 文化・人間・地域環境の世界への発信^{ちいきかんきょう はっしん}…など





リニア中央新幹線の開業により多くの人と情報じょうほうが行き来します。この地域が魅力ある地域であり誰もが誇ほこれる「地域ブランド」が重要になります。たとえば、地域全体で自然エネルギーやバイオマスなどを使い、地産地消ちさんちしょうできる低炭素社会ていたんそしゃかいの実現があります。そのほかにも新たな産業そうしゅつの創出、農産物など地域ブランドかくりつを確立し、先駆的せんくつきなモデル都市をめざします。

南アルプスと果樹



わたしたちが住んでいる地域の誇ほこりとか、自慢じまんできることを、『地域ブランド』っていいます。飯田じまんの自慢じまんできることを考えてみましょう。



「お父さんは、天竜川下りの船頭せんどうをしているよ。もっと天竜川下りや、天龍峡てんりゅうきょうを有名にして、世界中の人にきてもらいたい。」



「わたしは桜ガイドをしているわ。だいぶ上手じょうずにできるようになったわ。ガイドを育てる講座こうざで勉強すればもっと飯田をアピールできるし、今後は、外国語でのガイドちようせんに挑戦しようかな。」



「ぼくの家は果樹園かじゅえんをやっているよ。りんごや梨がおいしいって、多くの人を買ってくれるよ。ジュースやワインにして世界中に売り出したい。」



「ぼくは夏にお父さんと溪流釣けいりゅうつりにいきました。アマゴやイワナがいる川は水がとてもきれいなんだ。森がきれいだからだよ。森をいやしの空間くうかんにしたいなあ。」

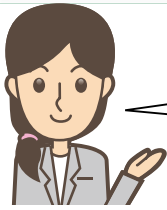


「おばあちゃんが飯田の名物は水引みずひき、半生菓子はんなまがし、五平餅ごへいもちだって言ってたよ。その地域の名物の売り方を研究して、飯田のブランドにするんだ。」



「わたしのお母さんは都会の修学旅行生を受け入れています。ご飯をみんなで食べたり、家の畑の仕事を手伝ってもらっています。ものすごく喜ばれています。世界中の人を受け入れるようにしたい。」

飯田だからできる取組みってなに？



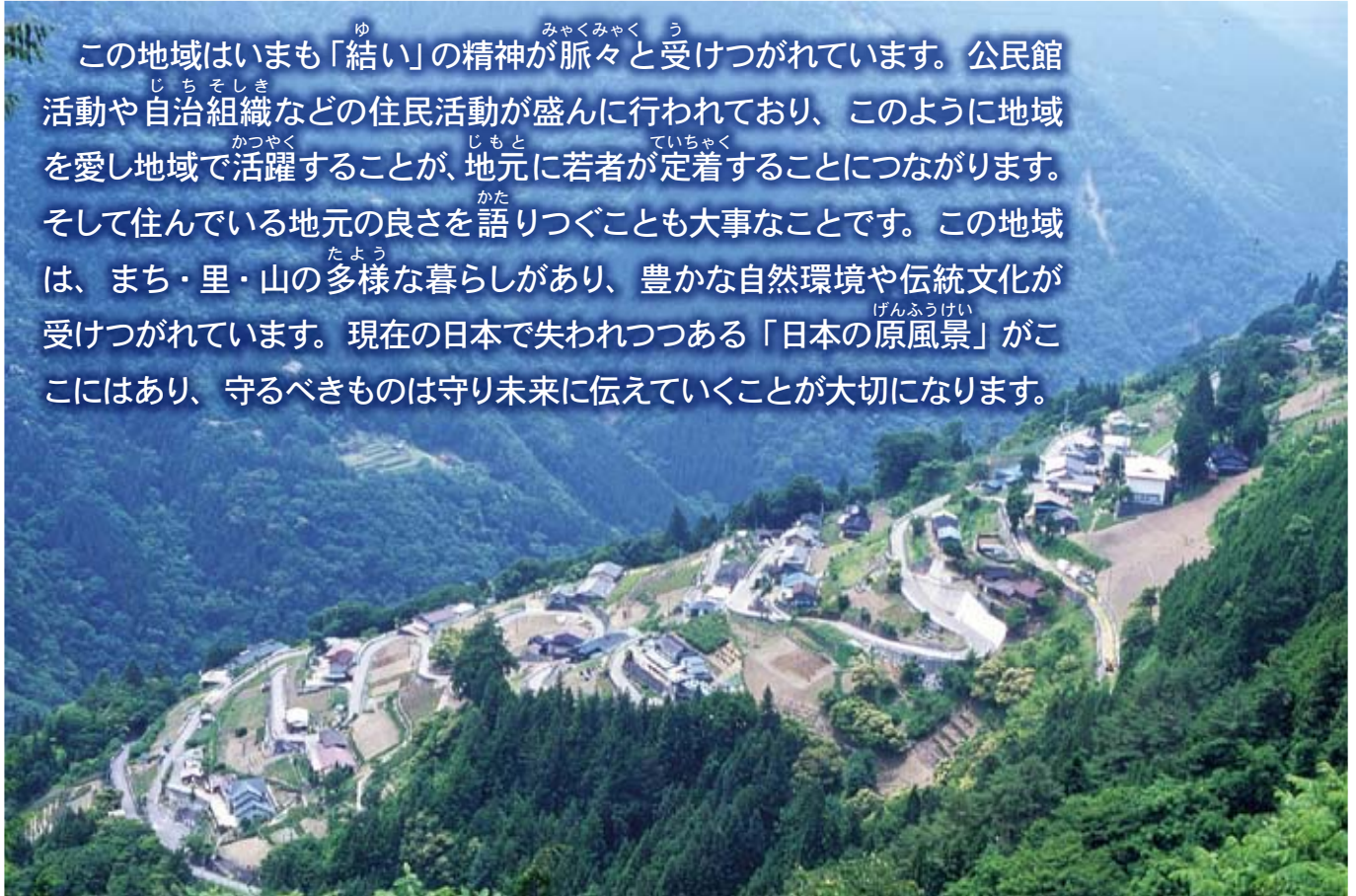
あなた自身、大人になった時に
どんな地域、どんなまちにしたいですか？
一緒になって考えてみましょう。

リニア^{しょうらいこうそうけんとう} 将来構想検討会議^{かいぎ}では、
リニア^{ちゅうおうしんかんせん} 中央新幹線^{みす}を見据え、^{くたいてき} 具体的なまちづくり^{あん} 案の意見^{あん}がありました。

- 人形劇^{にんぎょうげき}の文化
- 高等教育機関^{こうとうきょういくきかん}の整備^{せいび}
- 日本^{にっぽん}のふるさと^{ふるさと}と（交流^{こうりゅう}居住^{きょじゅう}）
- 広域^{こういき}観光^{かんこう}
- 低炭素社会^{ていたんそしゃかい}をめざした^{てつどう} 鉄道・バス^{てつどう}のネットワーク
- 地域^{しげん}資源^{かつよう}の活用 ● 大学^{だいがく}との連携^{れんけい}
- 新たな産業^{さんぎょう}の創出^{そうしゅつ} ● 里山^{さと}共生^{きょうせい}都市^{とし}
- 地域^{ちいき}に根差^{ねざ}したスマートシティ^{スマートシティ}…など



この地域はいつも「^ゆ結い」の精神が脈々と受けつがれています。公民館活動や自治組織などの住民活動が盛んに行われており、このように地域を愛し地域で活躍することが、^{かつやく}地元^{じもと}に若者が^{ていちゃく}定着することにつながります。そして住んでいる^{かた}地元の良さを語りつぐことも大事なことです。この地域は、^{たよう}まち・里・山の多様な暮らしがあり、豊かな自然環境や伝統文化が受けつがれています。現在の日本で失われつつある「日本の^{げんふうけい}原風景」がここにはあり、守るべきものは守り未来に伝えていくことが大切になります。



下栗の里



2027年、君たちは立派な大人になっているね。リニアが開通しても、わたしたちの地域で大切に守らなくてはならないものはなんだろう。



「わたしの地域では冬になると霜月祭^{しもつきまつ}を行います。これは長い伝統のあるお祭りで、受けついでいきたいです。」



「わたしの地域はホタルが住める川づくりをしています。ゴミ拾いもします。自然を大切にしたいです。」



「どんど焼き（おんべ）や花火大会とか、大人と子どもが一緒になって地域の行事をしています。家族中で楽しめます。こういうことは続けたいです。」



「飯田の人のことばはやさしくて、方言も『だに』とか『なあ』とかいうので、全体にのんびり、ゆったりしているから、心が休まるといわれます。」



「日本のチロルといわれる下栗^{しもぐり}の風景は、残してほしい景色です。南アルプスがそばにあるなんて、すごいです。」



「飯田はお茶の文化がさかんです。風越山^{かざこしやま}のふもとにある猿庫^{さるくら}の泉は大切にしてほしいです。」

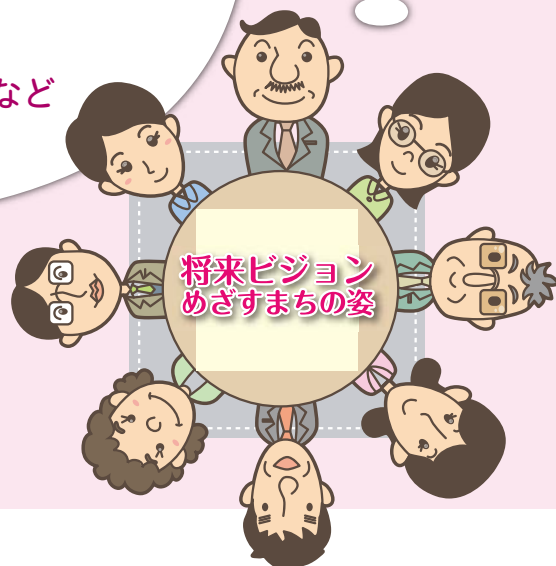
大切にしてきたことをつなげていきたい



あなた自身、大人になった時に
どんな地域、どんなまちにしたいですか？
一緒になって考えてみよう。

リニア^{しょうらいこうそう けんとう かいぎ}将来構想検討会議では、
リニア^{ちゅうおうしんかんせん みす ぐたいてき}中央新幹線を見据え、^{あん}具体的なまちづくり案の意見がありました。

- 自然^{しぜん}・景観^{けいかん}・風景^{ふうけい} ●文化^{ぶんか}・伝統^{でんとう}・地域環境^{ちいきょうかんげい}・生活環境^{せいかくかんげい}
- 公民館活動^{こうみんかんかつどう} ●地域^{ちいき}にある多様な^{たやう}主体^{しゆたい}の連携^{れんけい}
- 地域^{ちいき}を愛する^{きょういく}教育 ●伝統^{でんとう}行事^{こうじ}への参加^{さんか} ●食文化^{しょくぶんか}の明確化^{めいかくか}
- 体験旅行^{たいけんりょこう}・農家民泊^{のうかみんぱく}などグリーン・ツーリズム^{しんか}の深化
- 地元学^{じもとがく}(地域学)をとおした「生きる力」^{じょうせい}、「ふるさと」への思いの醸成
- 子供^{こども}と大人^{おとな}が楽しく集う^{つど}地域行事^{ちいきぎょうじ}
- 子供^{こども}たちにワクワクした^{あら}新たな^あものとの出会い^{であ}い…など



リニア中央新幹線を体感してみよう!

山梨県立リニア見学センター

<http://www.linear-museum.pref.yamanashi.jp/>

- 住所 やまなしけん つる しおがたやま 山梨県都留市小形山 2381
- 電話 0554-45-8121
- 開館 AM9:00 ~ PM5:00 (入館PM4:30まで)
- 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
祝日の翌日、年末年始(12/29 ~ 1/3)
- 入館料 一般・大学生 420円 高校生 310円
中学生・小学生 200円(団体割引あり)
※なお、土曜日に来館した小学校、中学校、
高等学校、特別支援学校に在学している
方は無料になります。



山梨県立リニア見学センター「どきどきリニア館」外観

- 駐車場 無料
- アクセス
ちゅうおうせんおおつきえき
電車：JR中央線大月駅下車、駅前バス停よりリニア見学センター行路線バスにて15分
車：中央自動車道大月インターチェンジ、都留インターチェンジから約15分
- 展示内容
 - ・超電導磁気浮上式リニアモーターカーや中央新幹線に関するいろいろな資料や映像があります。
 - ・リニアモーターカーについて、詳しく学ぶことができます。
 - ・リニアモーターカーの山梨実験線も山梨県立リニア見学センターから見るすることができます。

リニア・鉄道館

<http://museum.jr-central.co.jp/>

- 住所 あいちけん なごやしみなとくきんじょう とう 愛知県名古屋市港区金城ふ頭 3-2-2
- 電話 050-3772-3910 (JR東海テレフォンセンター)
- 開館 AM10:00 ~ PM5:30 (入館は閉館30分前まで)
- 休館日 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
- 入館料 大人 1000円、小中高生 500円
幼児(3才以上) 200円(団体割引あり)



展示されている超電導リニアMLX01-1

- アクセス
なごやりんかいこうそくてつどう
電車：名古屋臨海高速鉄道あおなみ線
○金城ふ頭駅下車 徒歩約2分
いせわんがんどうめいこう
車：伊勢湾岸道名港中央インターチェンジすぐ
- 展示内容
 - ・東海道新幹線を中心に、在来線から超電導リニアまでの展示を通じて「高速鉄道技術の進歩」を紹介しています。
 - ・精緻な「鉄道ジオラマ」をはじめ、実物の模型を使った展示コーナーも充実しており、鉄道のしくみや歴史について子どもから大人まで楽しく学ぶことができます。

この冊子に対するご意見、お問い合わせ先

飯田市役所リニア推進部リニア推進課

TEL 0265-22-4511 (内線 3311、3312、3313)